

済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	第47回日本股関節学会学術集会にて 「人工股関節全置換術における前外側アプローチと後側方アプローチの術後機能の比較」
当院の研究責任者	リハビリテーション課 小野 義仁
他の研究機関および各施設の研究責任者	特にありません
本研究の目的	当院では人工股関節全置換術（THA）において、従来から行われてきた後側方アプローチ（PL）と前外側アプローチ（ALS）を用いている。本研究の目的は2つの異なるアプローチが術後の股関節機能や歩行能力、入院日数等に与える影響を調査することである。
調査データ 該当期間	2017年4月から2018年6月末日
研究の方法 (使用する資料等)	上記期間内に、済生会松阪総合病院整形外科に入院し変形性股関節症にてTHA施行となった方 調査項目は、年齢、体重、入院日数、疼痛（安静時・荷重時）、歩行能力（速度・歩数）、股関節可動域、筋力（術前・術後2週）であり、電子カルテより抽出した。
試料・情報の 他の医療機関への提供	特にありません。
個人情報の取り扱い	研究に使用する情報に個人を特定できる情報は削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。
本研究に係る資金 (利益相反)	特にありません。
お問合せ先	0598-51-2626 リハビリテーション課 堀尾 健太